

# (仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事

図 面 目 録		
通し番号	図面番号	
1	M-00	表紙・図面目録
2	機特-01	機械設備工事特記仕様書(1)
3	機特-02	機械設備工事特記仕様書(2)
4	機特-03	機械設備工事特記仕様書(3)
5	M-01	機器表、樹リスト、要領図、衛生器具参考姿図
6	M-02	給排水衛生設備 全体配置図
7	M-03	給排水衛生設備 配置・1階平面図
8	M-04	合併処理浄化槽構造図
9	M-05	空調・換気設備凡例及び機器表
10	M-06	空調・換気設備 配置・1階平面図

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	表紙・図面目録	縮尺	—
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印 事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号		図面番号	M-00



## 7. 仮設工事

- ① 工事用電力、用水については、原則として次による。ただし、施設管理者と協議すること。
  - ・既存電力利用（ ・ できる ○ できない ）、電力料金（ ○ 有償 ・ 無償 ）
  - ・既存用水利用（ ・ できる ○ できない ）、用水料金（ ○ 有償 ・ 無償 ）
- ② 工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。ただし、施設管理者と協議すること。
  - ・同用地は、（ ・ 図示の場所に ○ 用意していないの業者にて ）設けること。
  - ・同用地に対する借地借家料を（ ）円見込んでいる。
- ③ 交通誘導警備員の配置  
交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 日間配置すること。
  - ・警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ ・ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。
  - ・警備員は、延べ（ ）人（昼（ ）人、夜（ ）人）；うち検定合格警備員（ ）人）を見込んでいる。
  - ・警備業法を遵守するとともに、受注者は、交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
  - ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
  - ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
- ④ 足場その他  
足場及び作業舞台の類を（ ・ 本工事で設置する ○ 関連工事が設置するものを無償で使用できる ）。
  - ・外部足場（種類： ・ 仕様： 枚布、D= cm、シート仕様： ）※足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。ただし、監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。
  - ・内部足場（種類： ・ 仕様： 枚布、D= cm）

## 8. 配管工事

- ① 配管材料については、次表による。

用途	名称	番号	備考
冷水・温水・冷温水	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)
	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	SUS304
	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS304
冷却水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA(管端防食継手)
	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
膨張・空気抜・補給水	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)
	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
蒸気(往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
蒸気(還)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	JIS K 3454	STPG370
油・油用通気	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
冷媒	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	JCDA 0009	ポリエチレン保温材(難燃性)
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 又は6742	VP(30φ以下はJIS K 6742を使用してもよい)
空調用排水(屋内)	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管		
	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP
給水(受水槽、減圧装置回り)(地中埋設)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA(管端防食継手)
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VD(管端防食継手)
	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	
	水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	①W又は②W
	水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144	EF継手
	給水用高密度ポリエチレン管	PWA 005 JP K 002	
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
排水・通気	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	DVLP
	耐火二層管(内管VP)		
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
排水(地中埋設)	下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管	JIS K 9798	RS-VU
	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)
給湯(地中埋設)(コンクリート内)	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	
	ポリブテン管	JIS K 6778	
	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JIS K 6776	HTLP
	架橋ポリエチレン管	JIS K 6769	
消火(地中埋設)	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	WSP 041	SGP-VS
ガス(地中埋設)(地中埋設)	○ 配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
	○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(黒)		
	ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774	SGP

(注)表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。

- ② ステンレス鋼管の接合方法は、呼び径60Su以下の継手はSAS322による拡管式とする。
- ③ 冷媒管に使用する断熱材被覆鋼管の断熱厚さは、液管は10mm以上、ガス管を20mm以上とする。
- ④ 建築物導入部の変位吸取方法は、次による。
  - ・給水配管、ガス配管
  - 標準図(施工4、施工5:建築物導入部の変位吸取配管要領 ・ (a) ・ (b) ・ (c) )による。
  - ※屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口樹(標準図【機械6】のTC-1)を設け、変位吸取余長をとる。
  - ・油配管
  - 標準図(施工4、施工5:建築物導入部の変位吸取配管要領 ・ (a) ・ (b) ・ (c) )による。
- ⑤ 配管溶接部の非破壊検査は次による。
  - ・要（ ・ 放射線透過検査 ・ 浸透探査検査または磁粉探傷検査 ） ・ 不要
  - ※検査要の場合の採取率は（ ・ 標準仕様書による ・ % ）とする。

- ⑥ 図面に記載なき防振継手は、（ ・ 合成ゴム製 ○ ペロウズ形 ）とする。
- ⑦ 図面に記載なき伸縮管継手は、（ ○ ペロウズ形 ・ スリーブ形 ）とする。
- ⑧ 弁類で、ステンレス鋼管に取り付けるものは、呼径50以下は青銅製、呼径65以上はステンレス製とする。
- ⑨ 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。(標仕<2>2.6.1、<2>2.6.3)
- ⑩ 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。
- ⑪ 地中配管は次による。(標仕<2>2.7.1、監理指針<2>2.7.1、標準図【機械2】)
  - ・排水管 標仕の当該事項に従い根切り底には再生クランチャーランを走り方にならない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。
  - ・排水管以外 管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、埋設表示(表示テープ及び埋設標)を行う。
- ⑫ 水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠へい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。(標仕<2>2.9.1)

## 9. 保温・塗装工事

- ① 保温工事
  - ・空調対象室部分(天井内を含む)に設置する全熱交換器の外気取入用ダクト及び排気用ダクトの保温は25mm厚とする。
  - ・厨房用排気ダクトの断熱(隠へい部) ・ I・(イ)・IX (又はH・(イ)・IX) ・ 行わない
  - ・冷媒管の保温外装は次による。
    - 屋内露出 ○ 合成樹脂製カバー(A1・(ロ)・I) ・ 保温化粧ケース( ・ 耐候性樹脂製 ・ )
    - 屋外露出 ○ ステンレス鋼板(E2・(ロ)・I) ・ 保温化粧ケース( ・ ステンレス鋼板製 ・ 高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ 耐候性樹脂製 ・ )
  - ・膨張管及び膨張タンクよりポリマー等への補給水管の保温は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
  - ・建物内エア抜き管の保温(エア抜き弁以降の配管は除く)は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
  - ・空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標仕<2>3.1.5の排水管の項による。
  - ・給水管の床下、暗室内及び屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。
  - ・消火管の屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。
  - ・配管でポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁も保温を行う。
- ② 塗装工事
  - ・次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。( ・ ダクトスベール、パイプシャフト内 ・ )
  - ・次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。( ・ 一般居室、廊下等 ・ )
  - ・屋内、屋外及びビツ内の支持金物等のうち、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装不要とする。
  - ・硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、監督員との協議により塗装を省略することが出来る。

## 10. その他共通事項

- ① 支持金物等
  - ・屋外及びビツ内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
- ② 用途等の表示
  - ・機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。(標仕 <1>1.7.4)なお、屋外及び水気のある場所(弁室内等を含む)での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。
- ③ 制御配線、計装配線等
  - ・使用する電線及びケーブルは、標仕<4>1.5.1 表4.1.11による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。

## 3章 空気調和設備・換気設備

### 1. 設計用温湿度条件

		外気条件		室内(調整目標値)			
				一般系統			
		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	9:00	31.3℃	69.1%	28.0℃	50%	℃	%
	12:00	33.9℃	59.3%				
	14:00	34.5℃	56.8%				
	16:00	34.1℃	57.7%				
冬季		1.7℃	62.1%	19.0℃	40%	℃	%

### 2. 配管勾配

ドレン管の横走り管の勾配は、原則として1/100とする。

### 3. 弁類

- ① 図面に記載なき弁類は、JIS-Kとする。
- ② ファンコイルユニットと冷水水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 差流量弁 ）を設ける。

### 4. 計装その他

- ① 温度計
  - ・標準図による他、図季した箇所及び次の箇所に取り付ける。
    - 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
    - ・ 機器付属以外の温度計は（ ・ パイメタル式温度計 ・ ガード付き(形温度計)とする。
- ② 瞬間流量計
  - ・形状はピド=管方式(止水ロック付)(固定式)とする。
  - ・次の箇所、若しくは図季の箇所に取り付ける。
    - （ ・ 冷凍機種の冷水出口 ・ 冷凍機種の冷却水出口 ・ ボイラ=又は熱交換器の温水出口 ・ 冷凍水パツダ=の各送り管 ・ ムット形空気調和機の冷凍水入口 ）
- ③ 壓力計
  - ・標準図によるほか図季した箇所に取り付ける。

## 5. ダクト・制気口・ダンパー

- ① ダクト
  - ・ダクトの区分（ ○ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト(範囲は図示) ・ 高圧2ダクト(範囲は図示) )
    - ・長辺の長さ1,500mm以下の長方形低圧ダクトの工法
      - （ ・ フレキシブル工法（ ・ 丸根フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法 ） ・ アングルフランジ工法 ）
      - ・長辺以外の長方形ダクト及び扇形排気ダクトは、アングルフランジ工法とする。
      - ・扇形ダクトの取付は「火災予防条例(消防法の運用)」を適用する。
      - ・ダクトの防火区画貫通部は標準図【施工42】ダクトの防火区画貫通部施工要領による。
  - ② 吹出口・吸込口
    - ・ボックス（ ・ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ）とする。
  - ③ ダンパー
    - ・防煙ダンパーの取付方式（ ・ 遠隔操作式(定格入力DC24V) ・ 手元式 ）
    - ④ チェンパ=等
      - ・結状吹出口には(長さ×100mm)×幅300mm×高さ300mmの接続チェンパ=を設ける。
      - ・シーリングゲージ用=の接続は、標準図【施工47】吹出口及び吸込口ボックスの例による。施工が困難な場合は、フレキシブルダクトを使用してもよい。
      - ・外壁に面するガラリー=チェンパ=等を設ける場合は、雨水等の滞留のないように施工する。
      - ・吹出口接続チェンパ=には消音内貼りをする。
      - ・内貼りを施すチェンパ=の取付方法は、外形寸法とする。
      - ・吹出口接続チェンパ=以外の内貼りしたチェンパ=には点検口を取付ける。点検口の大きさは、図面に記載なき場合は、原則として400mm×600mmとする。
    - ⑤ ウェジ=カバー
      - ・材質（ ・ ステンレス製 ・ ） ・ 塗装（ ・ 指定色塗装 ・ 耐重塩害仕様 ）
      - ・付属品（ ・ 網 ・ 防火ダンパ= (図季による) ・ 別図による )
  - ⑥ ベントキャップ
    - ・材質（ ○ ステンレス製 ・ ） ・ 形状（ ○ 深形 ・ 丸形防風板覆い付 ）
    - ・塗装（ ○ 指定色塗装 ・ 耐重塩害仕様指定色塗装 ）
    - ・付属品（ ○ 水切り ○ ガラリー ○ 網 ○ 防火ダンパ= (図季による) ・ 別図による )
  - ⑦ グラス除去装置
    - ・グラスウエストラクチャー ・ グラスフィルタ=
  - ⑧ 差流量・差流量=ムット
    - ・メカ=カナル形 ・ 風速センサー形
- ④ 冷水水管等の空気抜き
  - ① 空気抜きを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き装置（ ・ 手動 ・ 自動 ）を設ける。
  - ② 自動エア抜き装置は、標準図【施工38】蒸気及び冷温水管の配管要領(節)自動エア抜き装置による。
  - ③ 機械室の手動式空気抜き配管で、図面記載のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。

### 7. 冷却塔

標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

### 8. 水質基準

空調用流体の水質基準については、日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器水質ガイドライン)による。

## 9. パッケージ形空気調和機(マルチ形、ルームエアコン、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機を含む)

- ① 冷媒管口径、電気配線サイズは製造者の標準仕様とする。
- ② 屋内機、屋外機間の電気配線(アース共)は冷媒管と共巻きとする。
- ③ 冷媒はオゾン層破壊係数ゼロのものとする。
- ④ 補助電気ヒーター又は加湿器を組み込む場合は、送風機とインターロックする。
- ⑤ 屋外機の防振措置は、図示による。

## 4章 排煙設備

### 1. ダクト・排煙口

- ① ダクトの材質
  - ・亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚1.0mm)
- ② 排煙口の種類
  - ・バレル形（ ・ 突井取付 ・ 壁取付 ） ・ スリット形（ ・ 突井取付 ・ 壁取付 ）
  - ・ダンパ=形（ ・ 突井内取付 ）
- ③ 排煙口開放及び復帰方式
  - ・手動及び電氣式(遠隔操作 ・ 要 ・ 不要) ・ 手動式
- ④ 配線
  - ・排煙口から手動開放装置への配線は、標仕<4>1.5.1 表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。
- ⑤ 排煙流量測定
  - ・建築設備定期検査業務基準書2016年版(=財)日本建築設備=昇降機センター)の排煙流量の検査方法に準じる。

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	機械設備工事特記仕様書(2)	縮尺	—
		(株)泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印		図面番号	機特-02
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号			

~~6章 自動制御設備~~

- ~~1. 中央監視制御装置~~
  - ~~・ 有り(構成機能は図示による)  無し~~
- ~~2. 電源装置~~
  - ~~・ 要(・本工事・別途工事)  不要~~
- ~~3. 温度調節器等~~
  - ~~・ 取付け高さ  1,300mm  mm~~
- ~~4. 電気計装用配線~~
  - ~~① 電線及びケーブルは、標仕(※1.5.1表4.1.11)による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。~~
  - ~~② 図面に記載なき屋外、屋内露出の配線は金属管配線とし、天井内隠ぺいの配線はケーブル配線とする。~~
- ~~5. 自動制御盤~~
  - ~~・ 屋外用キャビネットはステンレス鋼板製とする。~~

6章 衛生器具設備

1. 小便器用節水装置
 

図面に特記なき場合は、洗浄水量が4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。

形式 ・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型

方式 ・ 個別感知の電源種別(※AC電源  )
2. 自動水栓
 

電源種別(・AC電源  ・自己発電  )
3. 大便器
 

大便器の洗浄水量は6.5L/回以下とする。
4. 施工
  - ① 衛生器具をコンクリート又はれんがが壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。(標仕<5>2.1.1)
  - ② 衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付けする場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。(監理指針<5>2.1.1)
  - ③ 衛生器具と排水管の接続は、標準図〔施工65〕大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとビニル管接続要領 による。

7章 給水設備

1. 配管材料等
  - ① ビニル管の接合方法は(  接着接合  ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする) )とする。
  - ② ポリエチレン管の接合方法は、50A以下は(・メカニカル接合  電気融着接合)  75A以上は電気融着接合とする。
  - ③ 特記なき給水管の最小管径は呼径20とする。
  - ④ 水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。
2. 量水器・量水器樹
  - ① 量水器
    - 親メーター (  借用  買取 (  現地表示式(直読式)  遠隔表示式(パルス式) )
    - ・子メーター (  買取  借用 (  現地表示式(直読式)  遠隔表示式(パルス式) )
  - ② 量水器樹
    - ・親メーター用 (  水道事業者の指定品  標準図〔機材57〕量水器樹 )
    - ・子メーター用 (  標準図〔機材57〕量水器樹  水道事業者の指定品 )
3. 弁類
  - ① 弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分はJIS-10Kとする。
  - ② 給水引込部の(  止水栓  弁樹)は水道事業者の指定品とする。
  - ③ 定水位調整弁は(・標準仕様書による(付属品含む)  水道事業者指定品 )とする。  
なお、定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。
  - ④ 緊急遮断弁装置の屋外に設置する制御盤は、ステンレス製とする。
4. 水栓・水栓柱
  - ① 水栓
    - ・屋外の水栓は(・キー式ハンドル  図示 )による。
    - ・台所流し用の水栓は、泡沫式とする。
  - ② 水栓柱
    - ・合成樹脂製  アルミニウム合金製  ステンレス鋼製

8章 給湯設備

1. 配管材料等
  - ① 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造者の標準品とする。

~~9章 消火設備~~

- ~~1. 弁類~~
  - ~~① 消火栓開閉弁は(・10K  10K)とする。~~
- ~~2. 保護工事~~
  - ~~① 噴水タンクの保護  施工しない  施工する~~
  - ~~② 充水タンクの保護  施工しない  施工する~~
  - ~~③ 消火配管の保護は次による。(壁外露出は、保護種別:62(ハ)~(ヒ)による。)~~
    - ~~・ 屋内消火栓  施工しない  施工する~~
    - ~~・ スプリンクラ  施工しない  施工する~~
    - ~~・ 連結送水  施工しない  施工する~~
    - ~~・ 連結取水  施工しない  施工する~~
- ~~3. 屋内消火栓・屋外消火栓箱・ホース格納箱~~
  - ~~① 屋内消火栓~~
    - ~~・ 広範囲型2号消火栓  易操作柱1号消火栓  1号消火栓  2号消火栓~~
  - ~~② 屋外消火栓箱・ホース格納箱~~
    - ~~・ 鋼板製  ステンレス鋼板製~~

10章 ガス設備

1. 配管材料等
  - ~~① 都市ガスの配管材料は、ガス事業者の供給規定による。~~
  - ② ガス管のコンクリート及びコンクリートブロック埋設部、床下土中埋設部は、合成樹脂被覆鋼管を使用する。
2. ガスメーター
  - ① 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
  - ~~② 子メーター計量方式 (  実測式  パルス式 )~~
- ~~3. ガス漏れ警報器~~
  - ~~① ガス漏れ警報器は(・本工事(取付位置は図示)  別途工事)して設置する。~~
  - ~~② ガス漏れ警報器の外断出力端子は(・不要  要)とする。また、警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は、(・本工事  別途工事)とする。~~
4. 液化石油ガス充填容器
  - ① 容器廻りの配管要領は、標準図〔施工73〕液化石油ガス容器廻り配管要領(  (a)  (b)  (c) )による。
  - ② 容器の転倒防止施工要領は、標準図〔施工74〕液化石油ガス容器転倒防止施工要領(  (a)  (b) )による。
- ~~5. バルブ貯槽~~
  - ~~・ 縦型  横型  最大充填量:  kg~~
6. 試験
  - ① 液化石油ガス設備は、液化石油ガス設備士により気密試験を行い、試験成績書を提出する。
  - ~~② 都市ガス設備の試験は、標仕の規定による他、ガス事業者の規定により行い、試験成績書を提出する。~~

11章 浄化槽設備

1. 機材・施工
  - ① ユニット型浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。「本体構造等」(標仕<8>3.1.1)で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。
  - ② 浄化槽の蓋(枠を含む)は、溶融亜鉛めっき仕上げの鋼板製若しくは溶融亜鉛めっき仕上げの鑄鉄製とし、固定が確実に、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。
  - ③ ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	機械設備工事特記仕様書(3)	縮尺	—
		(株)泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印		図面番号	機特-03
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号			

機器表					
記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所
WHG 1	ガス給湯器	給湯能力：16号、屋外壁掛型、高効率タイプ、LPG用 給湯専用タイプ、配管カバー共、重耐塩害仕様 給水：20A逆止弁付ボールバルブ+フレキシブル継手 給湯：20Aフレキシブル継手 LPガス：15Aサービスコック+15A金属フレキシブルホース ドレン排水：VP25立下げ メインリモコン及びリモコンケーブル（15m）他付属品一式共 リモコン配線工事は本工事とする。<※空配管は電気工事> ※設置は平成24年度国土交通省告示第1447号に準拠すること。	単相100V	1	屋外<1>
S 1	合併処理浄化槽	10人槽、中耐仕様、上部積載荷重、T-6荷重 鋼鉄製マンホール、ブローア配管工事一式 上下部スラブ工事、支柱工事、基礎工事（ブローア基礎含） 簡易土留め工事一式共	単相100V	1	屋外<1>

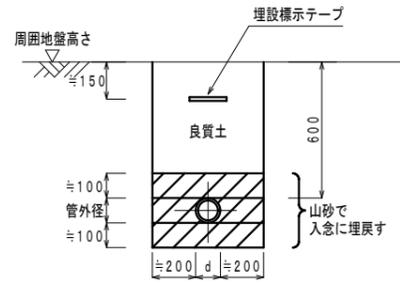
樹リスト (汚水雑排水系統) インバート樹							
記号	名称	寸法	上部蓋	周囲地盤高さ G L基準 (mm)	参考管底		備考
					設計G L基準 (mm)	周囲地盤基準 (mm)	
A	小口径塩ビ製 インバート樹	200φ	鋼鉄製防護蓋 φ200 (T-8)	400	45	-355	1190度曲り
B	"	"	"	400	35	-365	1190度合流
C	"	"	"	400	20	-380	1145・90度 合流
D	"	"	"	400	10	-390	1111 右左合流
	合併処理浄化槽			340		-400	
E	小口径塩ビ製 インバート樹	200φ	鋼鉄製防護蓋 φ200 (T-8)	400	20	-380	1190度曲り

※特記事項  
1. 管底については、全て参考値とする。  
施工に際しては施工図作成のうえ、樹据付位置を決定し、据付面のレベル測定により、修正を行うこと。  
2. 塩ビ樹は日本下水道協会規格品（JSWAS K-7）とし、硬質塩ビニル製または同等品とする。  
3. 防護蓋は鋼鉄製、耐荷重（T-8）、日本下水道協会規格品（JSWAS G-3）とする。（内フタ共）

（雨水系統）ため樹							
記号	名称	寸法	上部蓋	周囲地盤高さ G L基準 (mm)	参考管底		備考
					設計G L基準 (mm)	周囲地盤基準 (mm)	
1	RC製ため樹	350×350	MHA 350φ	340	-120	-460	RC-1
2	"	"	"	340	-190	-530	RC-1
3	"	"	"	±0	-330	-330	RC-1
4	RC製ため樹	350×350	グレーチング蓋 350×350	400	100	-300	RC-1
5	"	"	"	400	10	-390	RC-1
6	"	"	"	±0	-300	-300	RC-1

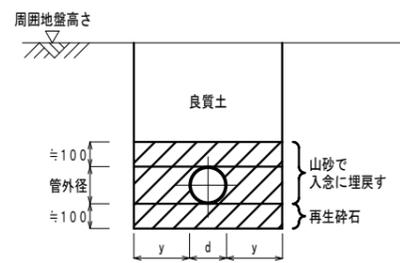
※特記事項  
1. 管底については、全て参考値とする。  
施工に際しては施工図作成のうえ、樹据付位置を決定し、据付面のレベル測定により、修正を行うこと。  
2. グレーチング蓋の仕様は、鋼製グレーチング・溶融亜鉛メッキ仕上げ・すべり止め型 T-6仕様とする。

衛生器具参考姿図 ※品番は参考とする。			
A	B	C	D
腰掛大便器	小便器	洗面化粧台	L型手すり
TOTO CS232B+SH232BA+TCF588+YH702	TOTO UFH500+TG600PN	TOTO LDBA075BAGMS1A+LMB075B1GDGIG	TOTO YHB603L
LIXIL BC-230S+DT-2350+CW-PB21-NE+CF-AA64	LIXIL U-406RU+UF3JT	LIXIL FTV1N-754+MFTXE-751YJ	LIXIL NKF-520
腰掛式タンク密結形防露便器く節水型（≒5L（大））>	低リップタイプ、手動フラッシュバルブ	W=750タイプ、シングルレバー（混合水栓（湯水切替））	奥行≒60、L≒600
防露式密結形ロータンク	トラップ、バックハンガー	ミラーキャビネット（くもり止め無し）	取付金具他付属品一式共
温水洗浄便座（貯湯式、暖房給湯内蔵、電源：AC100V、消費電力≒350W）	他付属品一式共	他付属品一式共	
備付二連紙巻器（柄：ステンレス製、本体：樹脂製）他付属品一式共			
E	F	G	
タオル掛け	散水栓（水栓柱共）	散水栓（ボックス共）	
TOTO YHT20R	TOTO T250SN	TOTO T28UNH13	
LIXIL KF-AA71C	LIXIL LF-7Y-13-U	LIXIL LF-33-13-CV	
L≒400タイプ	2口ホーム水栓	自動接手カッピング式、逆流防止機能付	
取付金具他付属品一式共	塩ビ製水栓柱H=1,200共	ステンレス製散水栓ボックス共	



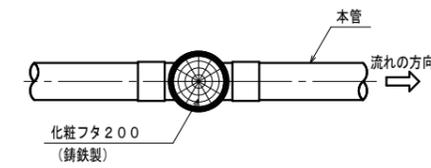
d: 管外径 (mm)  
※転圧は300mm毎に突き固めのこと。  
給水埋設要領図

（※分岐部、曲り部に地中埋設標  
設置のこと。）

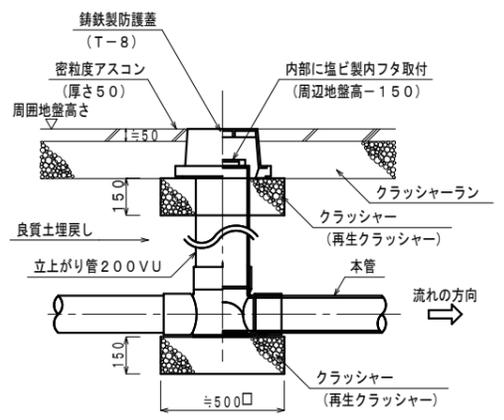
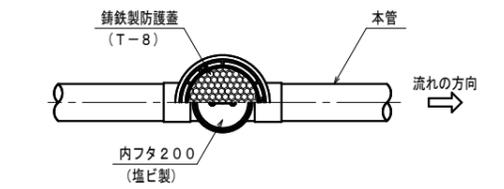


※転圧は300mm毎に突き固めのこと。  
排水埋設要領図

d: 管外径 (mm)  
y: 余幅 (mm)  
(根切深さ1m未満の時 : ≒200)  
(根切深さ1m以上、2m未満の時 : ≒400)



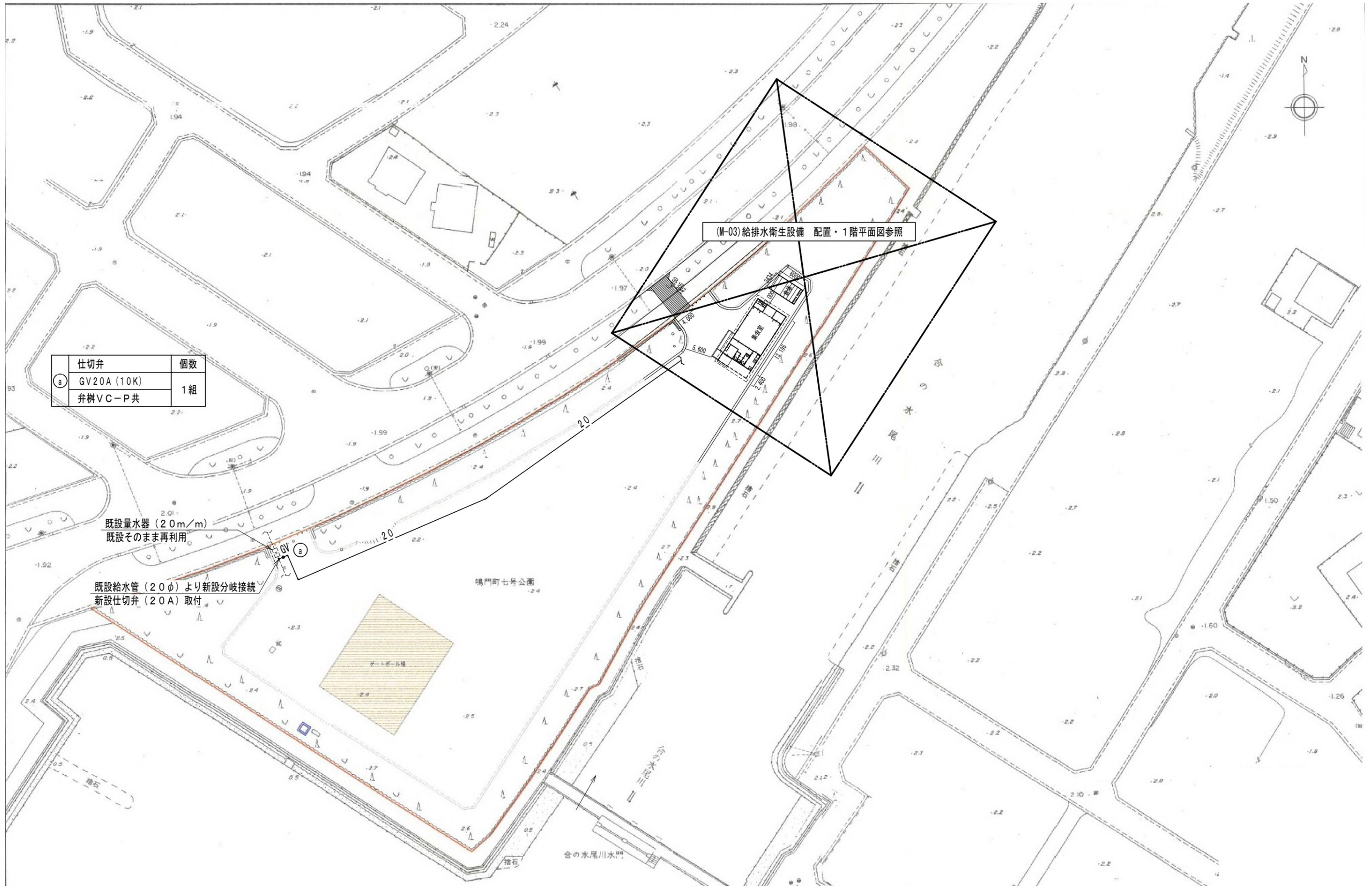
塩ビ製インバート樹据付要領図



塩ビ製インバート樹据付要領図  
(上部仕上げがアスファルト舗装部分で防護ハット取付け部分)

※注意事項  
本体と防護フタは隙間を空けて据付のこと。  
上部荷重が直接本体にからない様に据付のこと

IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	機器表、樹リスト、要領図、衛生器具参考姿図	縮尺	—
	(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印 事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号	図面番号	M-01	



(M-03) 給排水衛生設備 配置・1階平面図参照

仕切弁	個数
⑧ GV20A (10K)	1組
弁柵VC-P共	

既設量水器 (20m/m)  
既設そのまま再利用

既設給水管 (20φ) より新設分岐接続  
新設仕切弁 (20A) 取付

IZUMI SEKKEISHITU

工事名称

(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事

図面名称

給排水衛生設備 全体配置図

縮尺

1/700

(株) 泉設計室

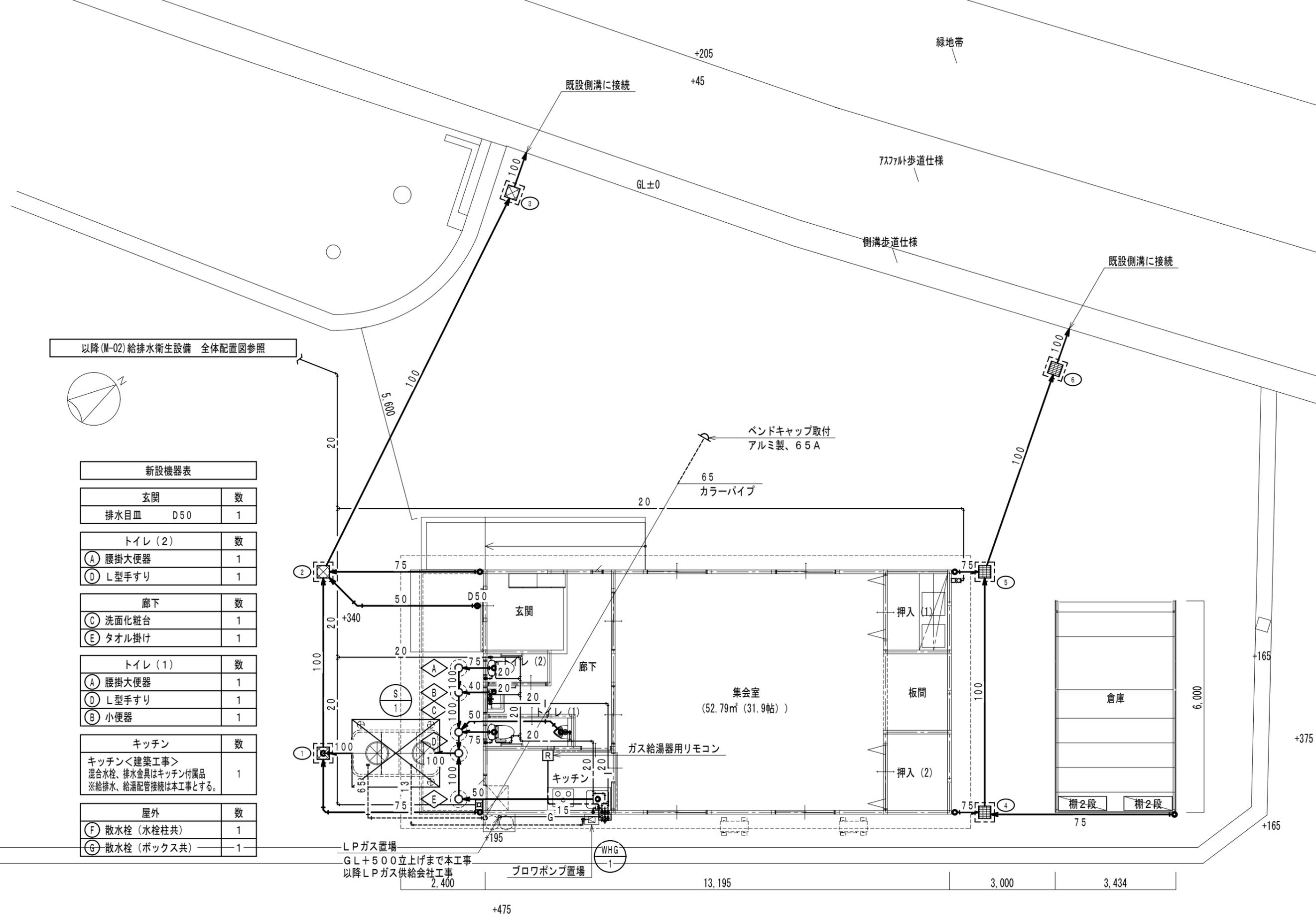
〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地

TEL・FAX 088-685-9345

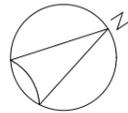
1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印  
事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号

図面番号

M-02



以降(M-02)給排水衛生設備 全体配置図参照



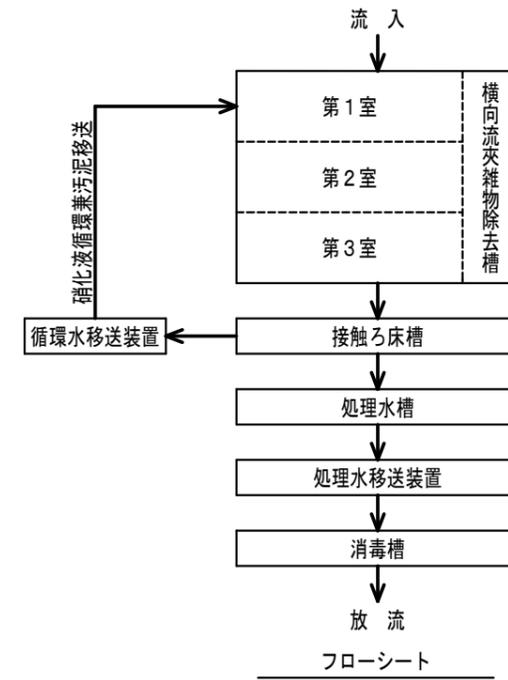
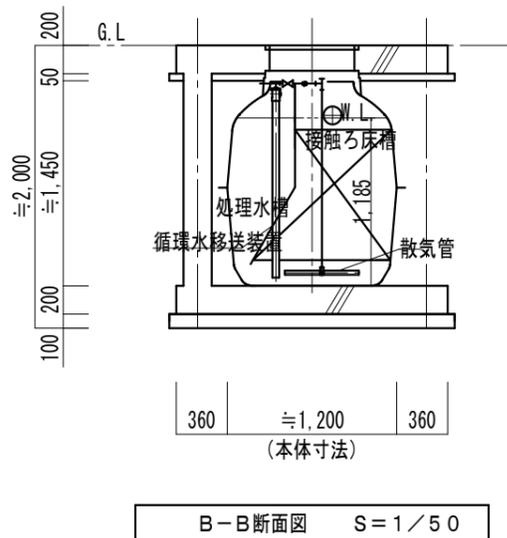
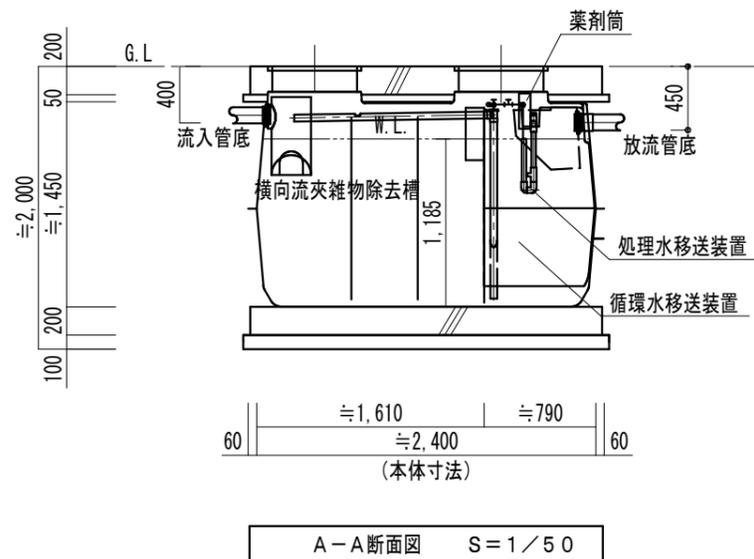
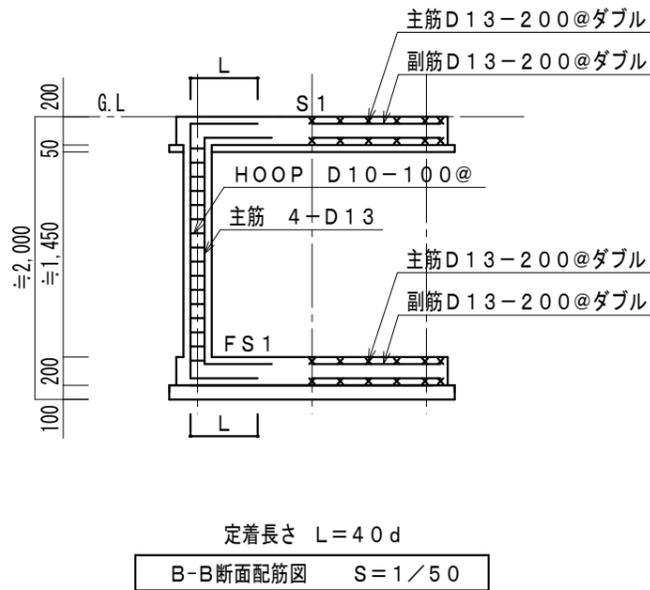
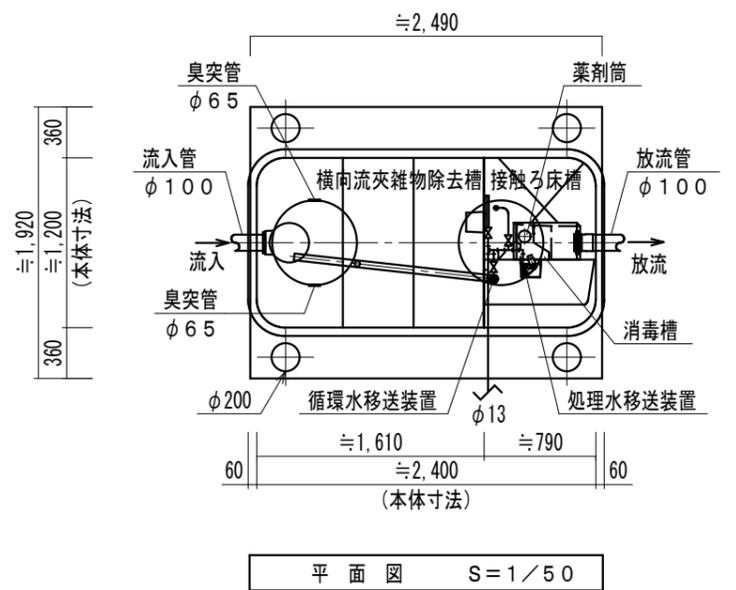
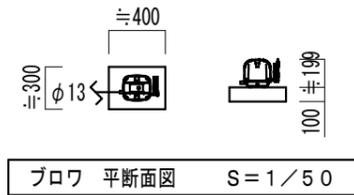
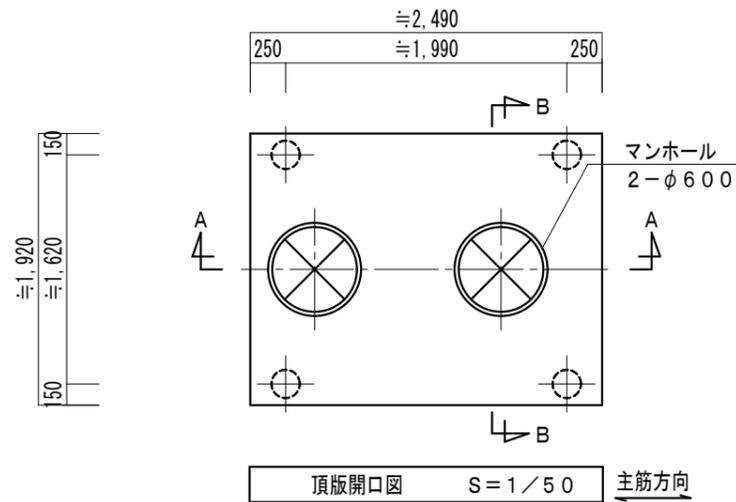
新設機器表	
玄関	数
排水目皿 D50	1
トイレ(2)	数
Ⓐ 腰掛大便器	1
Ⓓ L型手すり	1
廊下	数
Ⓒ 洗面化粧台	1
Ⓔ タオル掛け	1
トイレ(1)	数
Ⓐ 腰掛大便器	1
Ⓓ L型手すり	1
Ⓑ 小便器	1
キッチン	数
キッチン<建築工事> 混合水栓、排水金具はキッチン付属品 ※給排水、給湯配管接続は本工事とする。	1
屋外	数
Ⓕ 散水栓(水栓柱共)	1
Ⓖ 散水栓(ボックス共)	1

LPガス置場  
GL+500立上げまで本工事  
以降LPガス供給会社工事  
2,400

プロワポン置場

WHG  
1

IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	給排水衛生設備 配置・1階平面図	縮尺	1/100
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地 TEL・FAX 088-685-9345	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印 事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号	図面番号	M-03	



仕様表	
分類	合併処理
処理計画人員	10 人
処理計画汚水量	2.0 m <sup>3</sup> /日
流入水質	BOD 200mg/L
	COD 100mg/L
	SS 160mg/L
	T-N 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L 除去率90%
	COD 30mg/L
	SS 20mg/L
	T-N 20mg/L
処理方式	横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式
有効容量<参考> (m <sup>3</sup> )	
横向流夾雑物除去槽	2.071
接触ろ床槽	0.678
処理水槽	0.291
消毒槽	0.021
電気機器仕様<参考>	
プロワ	100V-単相-51W 1台

注記  
 スラブ荷重は、T-6とする。  
 コンクリート強度：F<sub>c</sub> = 18N/mm<sup>2</sup>とする。  
 開口部補強筋を設けること。  
 マンホールは、FRP製とする。  
 臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。  
 延べ床面積：112.56㎡  
 処理対象人員算定 (人/日)  
 集会所 (業務用厨房なし)・・・112.56㎡×0.08=9.0048人  
 ∴1.0人槽とする。

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	合併処理浄化槽構造図	縮尺	1/50
		(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印		図面番号	M-04
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号			

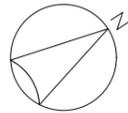
凡 例	
シンボル	名 称 規 格 等
	冷媒管 冷媒用断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009) ポリエチレン保温材 (難燃性)
	ドレン管 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP ※JIS K 6742は30φ以下に使用してもよい
	操作線 (リモコン、コインタイマー) EM-CEE-S1.25sq 相当品
	コインタイマー 使用硬貨：100円硬貨、設定可能時間：30秒～199分30秒 (30秒単位) (TD-AD-100NH 東亜電子工業 (株) 同等品)
	リモコンスイッチ
	換気丸ダクト スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ※浴室、シャワー室等多湿系統のダクトは硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) とする。
	有圧換気扇 換気設備機器表参照
	ダクト用換気扇 換気設備機器表参照
	ステンレス製ウェザーカバー (防虫網付) 換気設備機器表参照
	ステンレス製深形バンドキャップ (ガラリ・防虫網付) 換気設備機器表参照
	想定空気の流れ (24時間換気時)
※特記事項 1. 電線サイズ本数については、使用機器メーカーの仕様を参照のこと。 2. 冷媒配管・ドレン配管共、屋外露出部は耐候性樹脂製化粧カバーにて保護のこと。 3. ドレン管の防露は、20mm厚とする。 4. リモコンスイッチ、コインタイマー取付位置の詳細は打ち合わせの上決定とする。 5. コインタイマー設定内容の詳細は打ち合わせの上決定とする。 6. 使用機器の指定色については、承認図を提出し係員の指示により決定する。 7. 本工事に於いて必要と思われる工事が生じた場合、全て本工事にて完全に対応すること。 8. 露出する支持金物は全てステンレス製とする。	

換 気 設 備 機 器 表					
記号	機器名称	仕 様	電源 (参考)	台 数	設置場所
	レンジフード <建築工事>	レンジフード本体は建築工事とする。 但し、ダクト工事は本工事とする。 ステンレス製深形バンドキャップ (ガラリ・防虫網付) 150φ共	単相100V 60Hz	1	キッチン<1>
	有圧換気扇 (排気用)	格子タイプ、電動シャッター付、強弱速調付 羽 根 径：φ25cm 風 量：800m <sup>3</sup> /h×20Pa (強) 600m <sup>3</sup> /h×15Pa (弱) 消費電力：4.0.0W (EFG-25KSB <sub>2</sub> -W 三菱電機株 同等品) 換気専用コントロールスイッチ (強・弱タイプ) φ25cm用ステンレス製ウェザーカバー (防虫網) 共	単相100V 60Hz	1	集会室<1>
	ダクト用換気扇	低騒音形、十字格子タイプ 風 量：70m <sup>3</sup> /h×30Pa 消費電力：9.3W (VD-10ZC <sub>14</sub> 三菱電機株 同等品) ステンレス製深形バンドキャップ (ガラリ・防虫網付) 100φ共 ※トイレ (1) は24時間換気専用コントロールスイッチ (入・切タイプ) 共とする。	単相100V 60Hz	2	トイレ (1) <1> トイレ (2) <1>
	給気グリル	角形、壁取付、差圧式給気ユニット、φ150用 フィルター内蔵型、ロックレバー機構付 (閉止可能) (P-18QSU 三菱電機株 同等品) ステンレス製深形バンドキャップ (ガラリ・防虫網付) 150φ共		4	キッチン<1> 集会室<3>
※特記事項 1. 表記電容量は参考値とする。 2. フードは水切タイプとし、全て指定色焼付塗装とする。 3. 24時間換気用のスイッチには、24時間換気の旨表示のこと。(シール等) 4. 専用コントロールスイッチは電気工事に支給とし、配管配線共電気工事とする。					

24時間換気計算書									
階	室 名	室面積 (m <sup>2</sup> )	平均天井高さ (m)	室容積 (m <sup>3</sup> )	必要風量 0.3回転 (m <sup>3</sup> /h)	換気種別	設計風量 (m <sup>3</sup> /h)	判 定	備 考
1	玄関	5.18	2.40	12.43	3.73	第3種	70	OK	(F-1)×1台運転
	廊下	9.11	2.40	21.86	6.56				
	トイレ (1)	2.28	2.40	5.47	1.64				
	キッチン	6.62	2.40	15.89	4.77				
	集会室	52.79	2.40	126.70	38.01				
	板間	4.14	2.40	9.94	2.98				
小 計				192.29	57.69	第3種	70	OK	

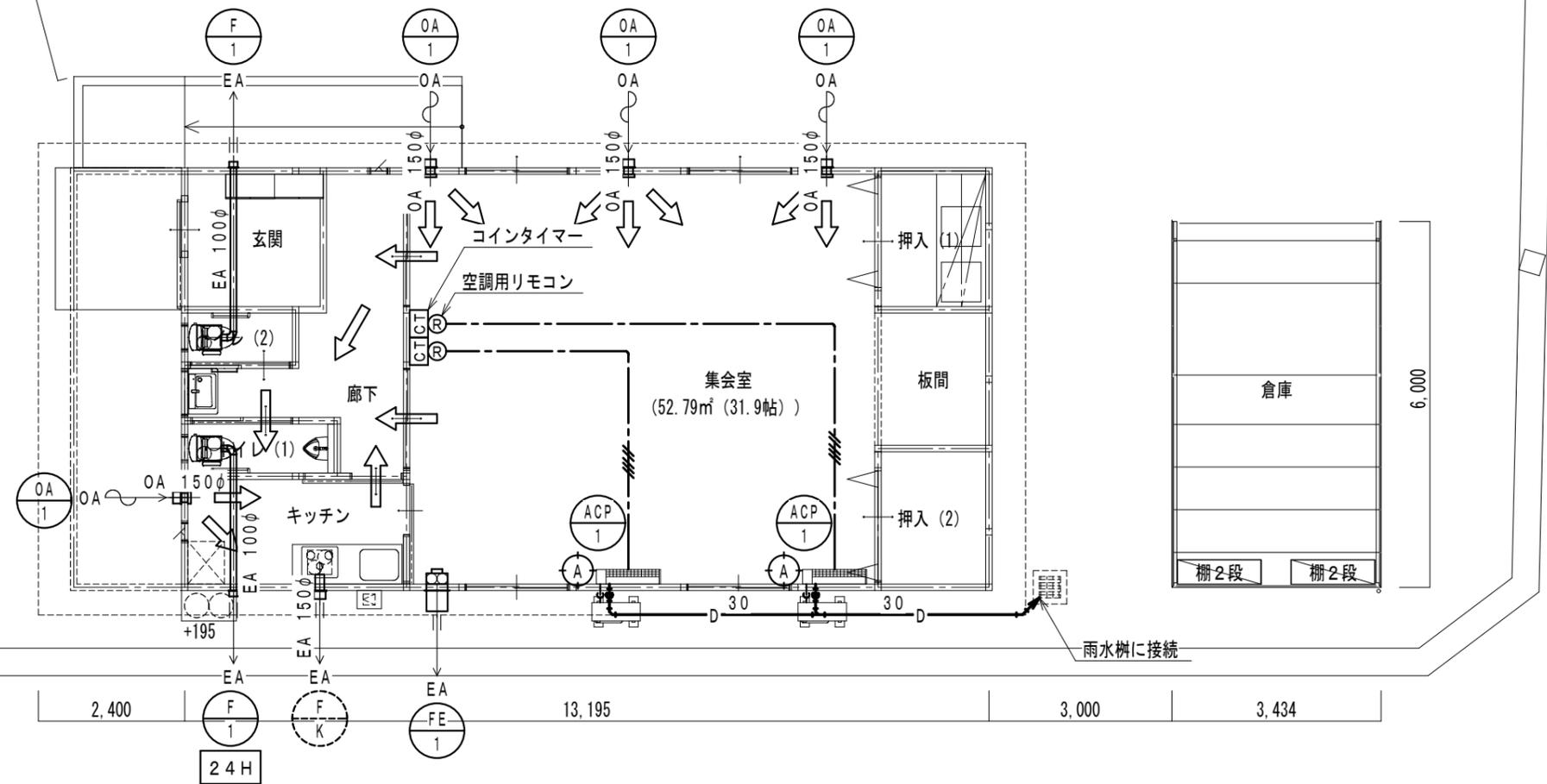
空 調 設 備 機 器 表					
記号	機器名称	仕 様	電源 (参考)	台 数	設置場所
	パッケージ形 空気調和機	シングル、耐重塩害仕様 冷暖房型、空気熱源ヒートポンプ、インバータ制御、圧縮機屋外形、P80 (3.0HP) 相当 屋内機：壁掛形 (WR) 冷房能力 (定格)：7.1kW、暖房能力 (定格)：8.0kW 冷媒ガス：R32 リモコンスイッチ (配管配線共) グループ遠方制御アダプター、コインタイマー (取付、配管配線、設定) 共 冷媒配管 (φ15.88×φ9.52)・ドレン配管工事 転倒防止金具、基礎工事 (室外機用基礎ブロック程度+防振ゴム (t=15mm以上)) 共	単相200V 60Hz 冷房時：2.49kW 暖房時：2.49kW 暖房低時：2.65kW	2	集会室<2>
※特記事項 1. パッケージ形空気調和機の屋外機への電源送りは別途電気工事とし、屋外機・屋内機間の渡り配線工事<電源線・操作線>は本工事 (渡り配線は冷媒管に共巻き) とする。 2. リモコンスイッチへの操作線配管配線工事は本工事とする。 3. 屋外機の基礎及び取付金具は本工事とする。 4. 表記電容量は参考値とする。 5. パッケージ形空気調和機の定格冷房能力、定格冷房消費電力は、機器能力については、JIS B 8616条件に基づく能力とする。 6. パッケージ形空気調和機はグリーン購入法基準値達成機種とする。					

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	空調・換気設備 凡例及び機器表	縮尺	—
		(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印		図面番号	M-05
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号			



冷媒配管サイズ表 (参考)		
記号	液管	ガス管
⊙A	6.35φ	9.52φ

※特記  
 1. 図示 **24H** は24時間換気用換気扇を示す。



IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	(仮称) 高島集会所新築工事のうち管工事	図面名称	空調・換気設備 配置・1階平面図	縮尺	1/100
	(株) 泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町齊田字浜端西6-1番地	TEL・FAX 088-685-9345	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 印 事務所登録番号 徳島県知事登録第01046号	図面番号	M-06	